



上岩井町内会 地域活動部です

元井庄平 65歳

いよいよ「上岩井ふる里づくり事業」がスタートしました。この取り組みは“近年急速に人口増となった当地区において、継続した協働をごおして、団地への転入者や老若男女を含めた世代間など親睦と交流を重ねることで「地域力」をアップさせ、「心豊かな安心できる上岩井」をめざす。”ことを目的としています。

幸い上岩井には各分野で活躍されている人達も多く、平成21年大晦日から「雪ほたるで新年を迎えよう！」が行われ、平成22年からは「新名所づくり（あじさい）」がスタートしていました。また、多くの文化財、ブナ林など「資源&財産」が本当に多くありました。しかし、これらの様々な事柄は残念ながら「点」であったような気がしますが、この事業で「線」としてつながり、数年後には成果として「面」となるよう取り組んでいきたいと考えています。是非みなさんも上岩井に足を運んで下さい。お待ちしております。

出合いからまちづくりへ

小池 徹 68歳

ここから見える四季折々の東山連邦や越後三山の素晴らしさに魅かれ、我が家は、中越地震の年、平成16年12月に出雲崎から、この「はなみずき団地」に引っ越して来ました。当時はまだまだ家の数も少なく、近所の付き合いも余り無く寂しい思いをしていました。日中お勤めのご両親が帰って来られるまで、子供たちを預かったりと近所付き合いが始まって行きました。でも、本村に住んでいられる方々とは中々接点がありませんでした。そんな折り、「あじさいプロジェクト」の代表者元井庄平さんが「仲間に入りませんか」と訪ねて来られました。花が好きだったことや、趣味が同じ写真であったこと等からお付き合いをする事になりました。それからは、毎月のまちづくり会議、作業、イベント等と楽しく地域活動部の一員として取り組んできました。立派なリーダーごそれを補って行く方々が多くおられ、様々なまちづくりが出来上がってきました。次世代が担ってくれるまで、自分の身体を労わりながら、上岩井の地域活動を続けて行きたいと思っています。

Ⅱ 市民協働 story Ⅱ

退職後に改めてふる里の良さに気付いた元井さんのまちおこしは、地元の仲間の力を得て徐々に形になって来ました。新天地に根を下ろそうと引っ越してきた小池さんは、人とのつながりを求めています。ふる里づくり(まちづくり)が二人を結びつけました。頼りになる人材を得た元井さんと仲間を得た小池さんは、住んでいる町内を今よりももっと住み心地の良いまちにして次の世代に渡って行きたいと、それぞれがアイデアと力を持ち寄って活動を続けています。この活動は長岡市地域コミュニティ事業補助金交付対象事業となりました。

